

# 12月はりま読書の会 2025アワード本を選ぼう！



## 『朝のピアノ』 キム・ジニヨン著



### 【候補作一覧】

書名	著者	請求記号
最後の一色 上・下巻	和田 竜／著	F ツ 1・2
朝のピアノ	キム ジニヨン／著	929 キ
全員タナカヒロカズ	田中 宏和／著	288 タ
本が読めない33歳が国語の教科書を読む	かまど／著	019 カ
ものがわかるということ	養老 孟司／著	914.6 ヨ
百	色川 武大／著	
山の上の家事学校	近藤 史恵／著	F コン

### 【その他紹介された作品】

のぼうの城	和田 竜／著	F ワ
村上海賊の娘 上・下巻	和田 竜／著	F ツ 1・2
麻雀放浪記 1 青春篇	阿佐田 哲也／著	

### ～ 読書会 memo ～

今日の読書会は「2025アワード本を選ぼう！」というテーマで候補作を持ち寄り、全員の紹介後、投票によってアワード本を決定しました。

いつもと日程が違うこともあります。参加者が集まるか心配していましたが、4名の方にご参加いただき、館長含む図書館員3名も合わせ、計7点の候補作が集まりました。

どれも素晴らしい作品で、「読んでみたい」と感じさせるものぞろいでしたが、その中でも『朝のピアノ』は圧倒的多数の投票でアワード本として選出されました。

『朝のピアノ』は、哲学者であり美学者であった著者が死に至る三日前、意識が混濁する直前までメモ帳に書き留めていた「最期の言葉」の記録です。

死を前にしたとき、この世界はいったいどんな輝きをもって私たちの眼に映るのでしょうか。自分が死の前に思い浮かべるのはいったいどんな言葉なのか、ふと考えさせられる1冊です。ぜひ手に取ってみてくださいね。

**次回は 1月18日(日)午前11時からの予定です。**

**※変更となる場合があります。HP等をご確認ください。**